

目黒の教育150周年記念展 集いし学び舎 ～過去から現在へ

場 圃めぐろ歴史資料館
(中目黒3-6-10、☎3715-3571、FAX3715-1325)
時 9月16日(土)9:30~11月26日(日)17:00
月曜日休館(9月18日、10月9日は開館し、翌日休館)

目黒に学校が誕生してから150年という節目の今年、目黒の教育150年の歩みをたどる特別展を開催します。目黒という地域と学校の関わり、子どもたちにとっての学校とは何であったのかなど、目黒の教育史を振り返ります。未来につながる特別展にぜひお越しください。詳細は区HP(コード①)をご覧ください。お問い合わせください。



①

かつての小学生たち

当館には、明治からの区内小学校の集合写真が残っています。子どもたちの通学服から、時代の変化を感じることができます。



▲昭和4年の尋常小学校の卒業写真(現在の大岡山小学校)



▲昭和初期の尋常小学校での授業風景



▲昭和期の学びの道具(机・椅子)



▲給食で牛乳を配るために使っていたミルクポット(昭和期)



▲昭和3年に完成した尋常小学校。この後、火災に遭うものの、目黒の人々の助力により復興を果たします

戦争と疎開と子どもたち



▲疎開先から送られたアルバム

戦争の勃発は、子どもたちの学びの場にも大きな影響を与えました。親元には疎開新聞やアルバム(左写真)で、疎開先の子どもの様子を伝えていました。

今に続く目黒の学校

子どもの数の減少により、全国的に学校の統廃合が相次ぎ、目黒にも廃校となった学校があります。校章は、そうした学校の記憶を今に伝える資料の一つです。この資料は区内の小・中学校の校章を集めたもので、廃校となった学校の校章も見ることができます。



▲区内の小・中学校の校章

あっ!
きちんと
やらなきゃ

空家対策



区は、平成30年度に空家等対策計画を策定し、さまざまな空家の問題解決に向けた取り組みを進めています。「近所に管理がされずに傷んでいる空家がある」「親が不在で、住んでいた自宅が心配だけど、どうすればよいか分からない」「親から相続した家の何か良い活用方法はないか」など、空家に関する困りごとがあれば、まずはお問い合わせください。

圃都市整備課空家対策調整係 ☎5722-8692、FAX5722-9239)

空家の適正管理助成をご活用ください

区内にある空家周辺の生活環境を守るため、費用の一部を助成します(要件あり)。申し込み方法など詳細は、区HP(コード②)をご覧ください。お問い合わせください。



②

助成制度	対象	助成内容	期間など
管理委託	区内にある一戸建て空家の所有者	管理委託費用の2分の1(1カ月2,000円まで)	申請した月から継続した36カ月以内
樹木せん定	者または相続人(個人)	樹木のせん定費用の2分の1(20,000円まで)	管理委託助成を受けている期間内で1回のみ

空き家ワンストップ相談窓口

東京都の採択事業者が設置する「空き家ワンストップ相談窓口」では、空家の相続・売却・賃貸・リフォーム・管理などの相談を無料で受け付けています。詳細は東京都空き家情報サイト(コード③)をご覧ください。お問い合わせください。



③

5年度相談窓口設置事業者

相談窓口	電話	受付時間
NPO法人空家・空地管理センター	☎0120-336-366	9:00~17:00(ゴールデンウィーク、年末年始を除く)
株式会社ジェクトワン	☎0120-979-008	10:00~18:00(土・日曜日、祝・休日を除く)
東急株式会社	☎0120-071-109	10:00~19:00(年末年始などを除く)
東京都行政書士会	☎5489-2411	12:30~16:30(土・日曜日、祝・休日、年末年始などを除く)
ネクスト・アイズ株式会社	☎0120-406-212	9:00~18:00(水曜日を除く)